

2022年12月 現在

FUJITSU Software

YPS/COBOL Pro V5.3a L20

本商品は、YPS仕様書ベースの開発機能(YPS仕様書の生成・翻訳・デバッグ)、業務仕様定義(AA開発ソリューションセット(別売り)で作成)からのプログラム生成・デバッグ機能、NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージおよびテスト・保守支援機能(画面帳票設計書の出力、テストデータの創成・更新・検証およびコード/ファイルの変換)を組み合わせた統合開発環境です。

本商品は、設計～プログラミング～デバッグ～単体テスト～保守の開発サイクルを支援します。これにより、PC、PCサーバおよびGS/Mシリーズ上で動作する業務アプリケーションを効率良く開発することができます。

- ・ スタンドアロン

PRIMERGY / FMV / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Cloud Service S5

- ・ スタンドアロン

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /
Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit) / Windows Server 2008 R2(64-bit) /
Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows 7(64-bit) /
Windows 7

1. YPS/COBOLアプリケーション開発向けの統合商品

YPS/COBOLを利用した業務アプリケーションプログラムを開発する場合に必要な以下の商品をセット化した商品です。個々に購入する場合に比べて、必要な商品群の手配が容易になると同時に、コストパフォーマンスが向上します。

(1) YPS/COBOLを利用した業務アプリケーションプログラム開発環境を構築

- ・ YPS WorkBench機能
- ・ YPS/COBOL機能
- ・ SIMPLIA PF-EXSPEC機能 (1)

1 : APPLY商品

(2) 業務仕様定義が正確に反映されたプログラムの生成、および生成したプログラムのデバッグ

- ・ YPS/BLDR機能

(3) 多彩な画面操作・帳票印刷機能による本格的ビジネス業務への適用、GUIアプリケーションの容易な構築

- ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ
(NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ, FORM, FORMオーバーレイオプション)

詳細は、NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ V12a (V12.2.0) ソフトウェアガイドを参照してください。

(4) 設計～開発～デバッグ～保守の工程をカバーするツール群、テストデータ生成、保守ドキュメント生成

- ・ SIMPLIA DF-FORM(1)
- ・ SIMPLIA TF-LINDA(1)
- ・ SIMPLIA TF-MDPORT(1)

1 : APPLY商品

構成商品と機能

商品名	版数	機能
YPS WorkBench 機能	—	表記編集、ホスト連携、オブジェクト管理、保守支援、標準化支援
YPS/COBOL 機能	—	コンパイラ、デバッガ、ブラウザ、カバレー
YPS/BLDR機能	—	制御設計、プログラム生成、デバッグ支援
NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ(32bit)	V12a (V12.2.0)	画面操作・帳票印刷機能を含むビジネス業務機能をサポートする COBOLベースの開発環境。
SIMPLIA PF-EXSPEO ※1	V05 L04	YPS 設計書生成
SIMPLIA DF-FORM ※1	V50 L70	画面帳票設計書出力
SIMPLIA TF-LINDA ※1	V81 L10	テストデータ創成・更新・検証
SIMPLIA TF-MDPORT ※1	V81 L10	コード/ファイル変換

※1:AFFLY商品

2. YPS WorkBench機能

YPSによるプログラム開発に必要なツールの統合化をWindows上で実現した統合開発環境です。

YPS仕様書の編集からコンパイル、リンク、デバッグおよび保守まで、すべての処理をWindows上で行うことができます。

(1) YPS表記編集機能

論理構造を意識したYPS仕様書の編集が可能です。

また、テキストファイルの編集を行うこともできます。

(2) セクション構造図編集機能

抽象度の高いセクション構造図のビューでYPS仕様書の編集が可能です。

YPS仕様書を解析して構造図を表示したり、構造図を作成してYPS仕様書のスケルトンを生成することができます。

(3) 標準構文ファイル変換機能

YPS表記編集で使用する標準構文を切り替えるユーティリティです。

また、利用者独自の標準構文定義ファイルを作成し、標準構文で使用することができます。

(4) 仕様書関連機能

- 仕様書印刷機能により、YPS仕様書を印刷したり、モジュール構成図等のドキュメントを自動生成して印刷します。

- ステップカウント機能によりYPS仕様書の実行ステップ数、コメント、図記号の数などをカウントします。

- YPS仕様書比較機能により、YPS仕様書の世代間の違いを色付けしてわかりやすく表示することができます。

(5) セットアップ機能

YPS WorkBenchの環境をカスタマイズすることができます。

(6) ホスト連携機能

簡単な操作でホストとの連携を行うことができます。

ホストのPS/P0やGEMとの転送、変更箇所のみを送信によるGEMへの修正反映が可能です。

(7) オブジェクト管理機能

プロジェクト単位でソースプログラムの構成を管理できるため、アプリケーションを自動的に構築するMAKE機能やプロジェクトのドキュメント印刷などが簡単に行えます。

(8) 保守支援機能

YPS仕様書などの資産から保守資料を出力したり、抽象化構文の修正による影響範囲の検索や一括修正などを行うことができます。

3. YPS/COBOL機能

YPS仕様書からCOBOLプログラムの生成、YPS仕様書でのデバッグおよび利用者アプリケーションの実行経路や回数の計測が行えます。

(1) YPS/COBOLコンパイラ

- ・仕様書とプログラムが一体化したYPS仕様書からCOBOL原始プログラムを自動生成できます。
- ・GS/Mシリーズと統一されたYPS言語仕様をサポートしています。
- ・YPS言語が持つ機能には、条件付き翻訳/日本語名標宣言/構文定義/取込み/全角文字記述/コメントキーワード定義/段階的詳細化があります。

(2) YPS/COBOLブラウザ

- ・エラーメッセージからエラー箇所への位置付けができます。
- ・YPS仕様書とCOBOL原始プログラムを対比して表示できます。

(3) YPS/COBOLデバッガ

- ・YPS仕様書ビューで会話的にデバッグできます。
- ・利用書の操作とその結果をファイルに記録できます。
- ・デバッグの処理手順を予めファイルに設定しておくことにより、デバッグ処理がバッチ化できます。
- ・YPS/COBOLデバッガの機能には、実行制御/データ表示・変更・監視/自動デバッグ/中断点設定/仕様書表示・検索/通過回数計測があります。

(4) YPS/COBOLカバレッジブラウザ

YPS言語で記述された利用者プログラムの実行した経路、実行回数、各プログラムの網羅率を表示・印刷できます。

4. YPS/BLDR機能

業務仕様定義が正確に反映されたプログラムの生成および生成したプログラムのデバッグが簡単に行えます。

(1) 標準スケルトンの提供

一般的なバッチ処理/オンライン処理のパターンを標準スケルトンとして提供します。

(2) プログラムの自動生成

AA/BRMODELLERで定義した業務仕様と、プログラムの処理制御を記述した基盤スケルトンから、プログラムを自動生成します。

(3) 業務仕様定義のエラー箇所の表示

プログラムの生成時に業務仕様定義の文法エラーが発見された場合には、AA/BRMODELLERと連携し、エラーとなった業務仕様定義の対応箇所を表示します。

(4) エラー発生個所の追跡

生成したプログラム(YPS仕様書、またはYPS仕様書を翻訳して作成したCOBOL原始プログラム)の各行が、どの資源(AA/BRMODELLERで定義した業務仕様またはプログラムの処理制御を記述したスケルトン)のどの行から生成されたかを表示します。

また、資源に応じたエディタ(AA/BRMODELLERまたはYPSエディタ)と連携し、対応個所の編集ができます。

(5) 業務仕様定義ビューの単体テスト支援

単体テスト時に、スナップトレース機能を使用することにより、業務仕様定義から生成した節(SECTION)の実行状況および節の出入口での各項目の値をファイルに出力することができます。

5. 適用業務

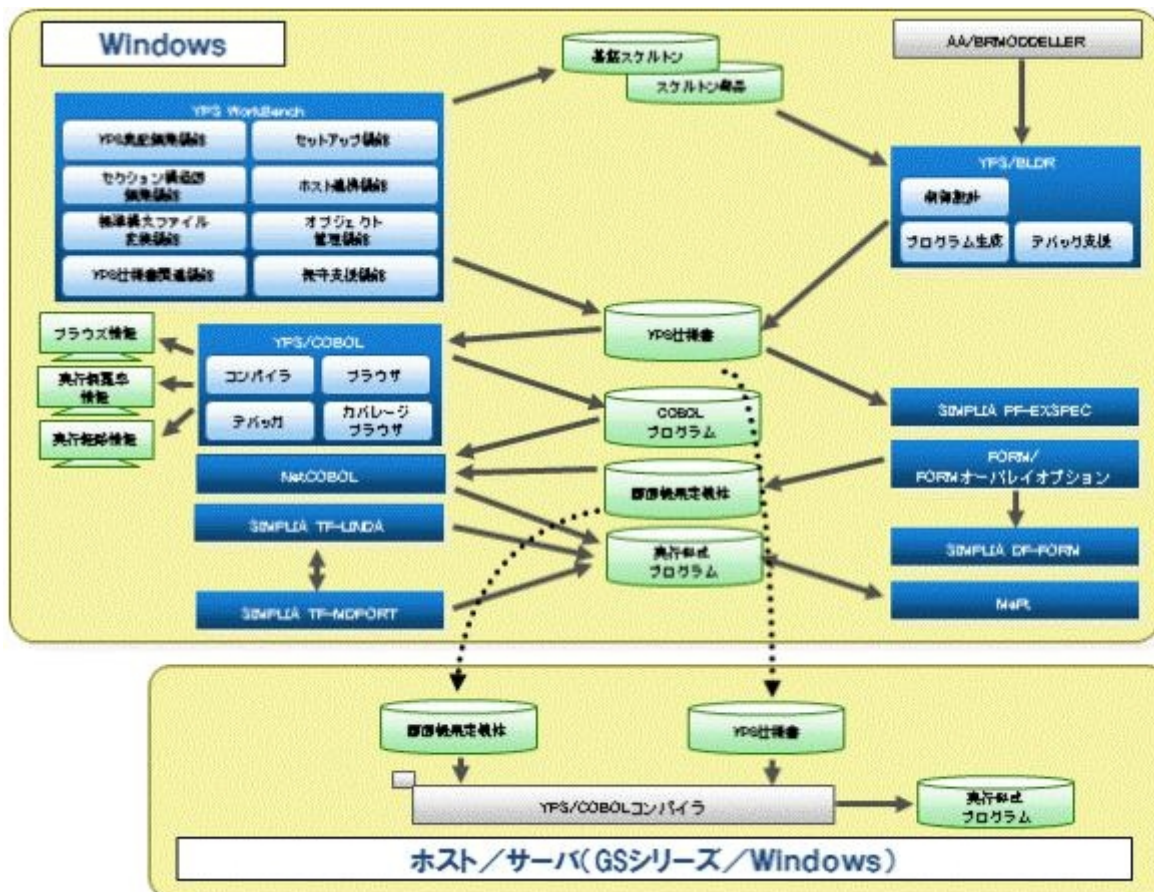
YPS/COBOLの適用分野は、事務処理(基幹業務システム)分野です。

COBOLを使用した従来の開発方法に比べて、プログラムの品質や保守性が向上します。

(1) プログラムロジックの構造や処理内容が分かりやすくなり、レビュー品質や保守性が向上します。

(2) 仕様書とプログラムが一体化して、保守対象がYPS仕様書だけとなります。

PCおよびホスト/サーバ(GS/Mシリーズ、Windowsサーバ)上で動作するアプリケーションを、Windows上で開発する場合に使用するソフトウェアです。



V5.3 L20からV5.3a L20の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 内部コンポーネントの入替え

内部コンポーネントを入れ替えました。

2. 同梱製品のバージョンアップ

同梱しているNetCOBOL を以下にバージョンアップしました。

- ・NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit) V12a (V12.2.0)

詳細については、NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit) V12a (V12.2.0)製品のソフトウェア・ガイドを参照してください。

・ オンラインマニュアル

- YPS WorkBench V5.1 使用手引書(PDFファイル)
- YPS/COBOL V5.1 使用手引書(PDFファイル)
- YPS/BLDR V5.1 使用手引書(PDFファイル)
- YPS/COBOL 言語文法書 2017年8月版(PDFファイル)
- YPS V5.3 リリース情報(PDFファイル)
- SIMPLIA PF-EXSPEC オンラインマニュアル(HTML形式)
- SIMPLIA DF-FORM オンラインマニュアル(HTML形式)
- SIMPLIA TF-LINDA ユーザーズガイド(HTML形式)
- SIMPLIA TF-MDPORT マニュアル(HTML形式)
- 上記以外に、NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージのオンラインマニュアルを添付

商品体系

- YPS/COBOL Pro メディアパック(32bit) V5.3a L20
- YPS/COBOL Pro 1ライセンス (1年間24時間サポート付) V5.3a (*)
- YPS/COBOL Pro 1ライセンス バージョンアップキット V5.3a

*: 本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

購入方法

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(DVD-ROM等)のみの提供です。

使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. ライセンスについて

本商品は、コンピュータ1台毎に1ライセンスを購入してください。

複数台のコンピュータに適用する場合は、その台数に応じたライセンス数の購入が必要です。

3. V5.2以前からのバージョンアップについて

(1)下表に示す商品を購入することで、V5.2以前のバージョンからのバージョンアップが可能です。

(2)バージョンアップを行うにあたり、メディアパックを各種ライセンスの購入に合わせ、最低一本は購入してください。

本商品へのバージョンアップ方法

バージョンアップ対象商品	バージョンアップ時に購入する商品	購入可能単位
YPS/COBOL Pro セット V2.1/V2.2	YPS/COBOL Pro 1ライセンス バージョンアップキット V5.3a	対象商品保有ライセンス数分購入が可能です。
YPS/COBOL Pro V4.1~V4.8		
YPS/COBOL Pro V5.0/V5.1		
YPS/COBOL Pro バージョンアップキット V5.0		
YPS/COBOL Pro セット ライセンスパック V2.1/V2.2		
YPS/COBOL Proライセンスパック V4.1~V4.8		
YPS/COBOL Pro ライセンスパック V5.0		
YPS/COBOL Pro ライセンスパック バージョンアップキット V5.0		
YPS/COBOL Pro ライセンスパック V5.1/V5.2		
YPS/COBOL Pro ライセンスパック バージョンアップキット V5.1/V5.2		

1. YPS WorkBench機能の関連ソフト

1. JEF拡張漢字を使用する場合

JEF拡張漢字を使用する場合は、以下の商品が必要です。

- ・ JEF拡張漢字サポート V7.2 L10以降

2. ホスト連携機能を使用する場合

ホスト連携機能を使用する場合は、以下の商品が必要です。

- ・ 通信制御サービス V7.1 L25以降
- ・ WSMGR V7.1 L30以降
- ・ WSMGR APIオプション V7.1 L20以降

2. YPS/COBOL機能の関連ソフト

COBOL開発環境を構築する場合

COBOL開発環境を構築する場合は、以下の製品が必要です。

- ・ NetCOBOL シリーズ 開発パッケージ V10.5.0以降
- ・ MeFt V10.0.0以降
- ・ FORM V10.0.0以降

3. YPS/BLDR機能の関連ソフト

本商品とSDAS統合CASE AA 開発ソリューションセットを組み合わせることで、AAの開発環境の構築が容易に行えます。

- ・ SDAS統合CASE AA 開発ソリューションセット(APPLY商品)

ご利用される場合は、以下からお問い合わせください。

富士通の総合システム開発体系「SDAS」

<http://www.fujitsu.com/jp/solutions/infrastructure/dynamic-infrastructure/sdas/contact/index.html>

4. 本商品に組み込まれている商品の関連ソフトについて

- ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージの詳細は、NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ V12a (V12.2.0) ソフトウェアガイドの関連ソフトを参照してください。

なし

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- ・ Windows Server 2008 R2(64-bit)
- ・ Windows Server 2012(64-bit)
- ・ Windows Server 2012 R2(64-bit)
- ・ Windows Server 2016(64-bit)
- ・ Windows Server 2019(64-bit)
- ・ Windows Server 2022(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- ・ Windows 7(64-bit)
- ・ Windows 8.1(64-bit)
- ・ Windows 10(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. インストールについて

メディアパックは、DVDで提供されます。

インストールにはDVDドライブユニットが必要です。

DVDドライブユニットが搭載されていないマシンの場合は別途手配が必要です。

なお、DVDドライブユニットが接続できない場合は、以下の方法でインストールできます。

1. DVDドライブユニットを接続したマシンをネットワーク接続し、セットアップディスクをDVDドライブに入れます。
2. ネットワーク経由で、セットアップディスクの全ての内容を、インストール対象マシンのローカルフォルダにコピーします。
3. 2.のローカルフォルダにある「setup.exe」を起動してください。

4. フォームオーバーレイ機能について

フォームオーバーレイ機能を使用してプリンタ出力を行う場合、オーバーレイ機能を有するプリンタが必要です。

5. YPS WorkBench機能の留意事項について

1. YPS WorkBench for Windows V2.1/V2.2 との互換性について

(1) YPS WorkBench機能はWindows標準の操作性に基づいているため、YPS WorkBench for Windows V2.1およびYPS WorkBench for Windows V2.2(「旧仕様との互換」の操作モード)でサポートしていた以下の操作性は、サポートしていません。

- ・ 機能を選択してから開始位置・終了位置を指定
先に範囲を指定してから機能を選択する操作性に変更しました。
- ・ マウスの左クリックでポップアップメニュー(編集機能メニュー)を表示
マウスの右クリックでポップアップメニューを表示する操作性に変更しました。

(2) YPS WorkBench for Windows V2.2 の画面分割機能は、編集中のYPS仕様書に対してさらに参照モードで画面を開く方法でサポートしていましたが、編集中のYPS仕様書の画面を上下に分割する方法に変更しています。

2. YPS WorkBench V4.1/V5.0 との互換性について

YPS WorkBench V4.1/V5.0 との非互換はありません。

YPS WorkBench V4.1/V5.0 で作成した資産は、そのまま利用できます。

3. サポート終了機能について

以下の機能については、連携製品のサポート終了に伴い、利用できなくなりました。

- ・ キャビネット連携
- ・ 項目辞書連携

6. YPS/COBOL機能の留意事項について

1. 対応するCOBOLコンパイラについて

YPS/COBOL機能が対応しているCOBOLシステムには、NetCOBOL、 COBOL G および Micro Focus COBOL の3つがあります。

これらのシステムのうち、COBOL G および Micro Forcus COBOL は、COBOL原始プログラムの生成だけをサポートしています。

このため、YPS/COBOL機能のすべてのコンポーネント(コンパイラ、ブラウザ、デバッガおよびカバレッジブラウザ)を利用したい場合は、関連ソフトに記載のNetCOBOLシリーズ 開発パッケージが必要です。

2. YPS/COBOL for Windows V2.1/V2.2からの移行について

YPS/COBOL for Windows V2.1/V2.2から本商品に移行する場合、以下の点にご注意ください。

本商品に含まれるYPS/COBOLデバッガでは、16ビットアプリケーションのデバッグはできません。このため、利用者プログラムは、YPS仕様書の再翻訳および再リンクを行い、32ビットアプリケーションとして作成し直してください。

7. YPS/BLDR機能の留意事項について

- ・ YPS仕様書の言語仕様レベル

生成するYPS仕様書の言語仕様は、「FUJITSU YPS/COBOL言語文法書 1992年12月版」以降に対応します。

生成したYPS仕様書をYPS/COBOL処理系の入力とする場合は、当該YPS/COBOL処理系の言語仕様レベルに注意してください。

8. 本商品に組み込まれている商品の留意事項について

- ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージの詳細は、NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ V12a (V12.2.0) ソフトウェアガイドの留意事項を参照してください。

お客様向けURL

- **FUJITSU Software (ソフトウェアの一覧表 (システム構成図) と各種対応状況)**
価格/型名の一覧 (システム構成図) を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>
- **FUJITSU Software (ライセンス)**
「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>
- **FUJITSU Software(SIMPLIA)**
SIMPLIAの詳細情報を掲載しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/infrastructure/dynamic-infrastructure/sdas/products/simplia/>